学びいっぱい・笑顔いっぱい・仲間いっぱい・元気いっぱい

ひろっこ

呉市立広小学校
令和3年3月18日
NO29　文責　校長　枝長真智子

「輝け！希望のフラッグ」プロジェクト（6年生）

　このたび，６年生が，卒業するにあたり，家族や地域の方，そして広小学校の後輩達に感謝の気持ちとエールを送るために，「輝け！希望のフラッグ」プロジェクトを実行しました。３学期に保護者や地域の方を招き，「ありがとうコンサート」をする予定でしたが，コロナウィルス感染症の拡大やそれに伴った教育活動の制限により，開催することができませんでした。

　そこで，６年の田谷乙葉さんのアイデアコンテストで受賞した「学校の行事や地域のイベントが中止になっているから，みんなの気持ちを明るくするためにできることを考えて創りたい。」という想いを受け，形は違いますが，「上を見上げれば，元気がでるもの」というアイデアを具現化しました。

　横断幕には各クラスで考えたメッセージ，フラッグには各自２枚ずつ前向きになる言葉や絵を描きました。それを見上げて笑顔になったり，元気が出たり，喜んでいただけるよう願いを込めて作成しました。子供達は協力しながら取り組み，生き生きと活動していました。そして，それらの取組を通して，人に喜んでもらうために取り組むことや協力することのよさを感じることができたようでした。

　横断幕は地域の方にも見えるように，正門と東門のフェンスや西門に面した２階の渡り廊下に，フラッグは在校生によく見えるように，なかよし広場に掲げています。そして，横断幕と共にドローンで撮った写真を卒業アルバムにも載せます。例年とは違った思い出をつくることができました。

児童の日記より

　この横断幕を見たら，絶対笑顔になると思います。クラス全員の気持ちがぱんぱんにつまって爆発しそうなぐらい素敵な卒業制作でした。わたしもミシン縫いで協力できて，本当に良かったです。やっぱりこのクラスは最高ですね！うれしい気持ちが心にあるまま１日を終えることができて，よかったです。

　横断幕をかいたり，見えるかどうか確認したりしている時に，他の先生方に「上手だね。」「がんばって。」と言っていただけるのが，とてもうれしいです。困ったこともたくさんあったけれど，協力してがんばってよかったなと思いました。

裏面もあります。

今日，横断幕とフラッグが完成しました。これはみんなが考えた言葉とそれをかいたみんなで力を合わせてできたものです。フラッグも一つ一つみんなの思いがかかれて，それが伝わってきたので，感激しました。この２つは，みんなが協力したからできたものだと思います。ぼくは，このクラスでよかったなとあらためて思いました。

今日は，フラッグの糸通しを任され，６８枚の布を通していきました。みんなと協力してやり遂げたので，気持ちがよかったです。

テレビ放映「くれワンダーランド　Journey」

呉市の広報番組「くれワンダーランドＪｏｕｒｎｅｙ」で，本校の６年生が出演したエンドロールが今週放映されます。撮影は，なかよし広場で，６年生が作成したフラッグの下で行われました。

６年生の流田獅苑くん，前田武流くん，田谷乙葉さん，尾茂田篤樹くんの４人が元気よくコールします。放映日時は次の通りです。ぜひ，ご覧ください。

RCC 放送　「くれワンダーランド　Ｊｏｕｒｎｅｙ」
3月１９日（金）１８：５６～１９：００
※番組最後のエンドロールで登場します。

がんばった6年生　快挙！

この度，６年の有田陽菜さんが，「第２７回中国地区書き初め大会」において，特選を受賞しました。また，同じく６年の矢口愛結さんが，「ＭＯＡ全国美術館児童作品展２０２０特別企画展」の書写の部において，約２万点の作品の中から入選となりました。

最高学年である６年生の活躍は，下の学年にとってあこがれであり，お手本となります。中学校に進学しても，いろいろなことにチャレンジしていってほしいです。